

消費生活アドバイザー 講座

～ テキスト学習とeラーニング ～

この講座は、消費生活の専門資格保有者で構成される消費者団体（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（通称NACS）が、（一財）産業人材研修センターと共同して、公益目的事業として、大学生に提供するものです

**定員 300名
(先着順)**

■ お申込期間:4月10日～8月31日

* なお、300名に達した時点で一旦受付終了とさせていただきます。

■ 開講日: 5月下旬、インターネットで受講可能

■ 受講料: 無料 *ただし、公式テキスト代及び受験料は自己負担となります。

■ 定員数: 300名(先着順)

■ お申込方法: 右下の二次元コードからお申込ください。

* お申込者には、お申込受付メールを返信します。

受講が決定した方には、5月上旬に、動画講座の視聴や
レジュメのダウンロードができる専用Webページに関する
情報を、登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

■ お問い合わせ先: adshien@nacs.or.jp



< 講座の特徴 >

➤ 使いやすいオリジナルレジュメ

1次試験は、公式テキストから7割出題されます。
公式テキストを効率よく学習できるよう、先輩アドバイザーが公式テキストをもとにポイントをまとめたレジュメを提供します。ご自分でダウンロード・印刷してご活用ください。

➤ わかりやすい解説講座(録画)

解説講座は、オリジナルレジュメに沿って行います。
インターネット環境があれば、いつでも、どこでも、
繰り返し視聴できます。

< 講座(録画)の内容 >

学習の進め方
消費者問題
行政知識
法律知識
広告と表示
経済一般と経済統計の知識
企業経営一般知識
金融の知識、生活経済
地球環境問題・エネルギー需給
医療と健康
社会保険と福祉
衣服と生活
食生活と健康
快適な住生活
商品・サービスの品質と安全性

消費生活アドバイザーとは

- ・ 消費者と企業や行政の架け橋となり、幅広い分野で社会貢献する人材を養成することを目的として、1980年に創設された資格です。
- ・ 資格取得者は、企業や行政、団体など幅広い分野で活躍しています。

消費生活アドバイザー資格試験のポイント

- ・ (一財)日本産業協会が実施する事業認定資格試験です。
- ・ 国家資格である消費生活相談員資格もあわせて取得できます。
- ・ 1次試験はCBT(テストセンターにてコンピュータで受験)方式ですので、全国47都道府県で受験することができます。
- ・ 資格取得後も更新講座や有資格者交流会など資格活用支援メニューが豊富に用意されています。

* 1次試験に合格・2次試験不合格の場合、翌年の1次試験は免除。

■ 試験概要 (詳細は右二次元コードからご確認ください。)

➤ 受験料：16,500円

➤ 受験申込：7月～8月末

➤ 1次試験(30問選択式)

- ・ 例年10月の土曜日・日曜日のうちの4日程から希望日を選択
「消費者問題」「消費者行政・法律知識」「経済・企業経営の一般知識」「生活基礎」から出題
- ・ 1次合格発表：例年10月下旬

➤ 2次試験(論文＋面接)

- ・ 例年11月下旬～12月上旬の土曜日または日曜日
- ・ 論文は「消費者問題」「法律知識」「企業経営の一般知識」から1題を選択して回答
- ・ 1人10分程度の個人面接

➤ 最終合格発表：翌年の2月1日(予定)

<よくいただくご質問>

Q. 大学生でも受験していますか？

A. この試験の学習内容が、大学での専門的な学びを実社会につなげるのに役立つと考える大学の先生方が増えており、今後、大学生の受験が増えてくると考えます。

Q. 合格率(受験者ベース)はどれくらいですか？

A. 2022年度の最終合格率は27.1%でした。

Q. 公式テキストや過去問はどこで入手できますか？

A. 公式テキストは、消費生活アドバイザー資格試験を実施する日本産業協会が制作・販売しています。詳しくは右上の二次元コードから。また、過去問は日本産業協会のホームページよりダウンロードして入手できます。こちらは無償です。



NACSは

1988年に通商産業省(現在の経済産業省)の後押しにより「消費者と企業や行政との架け橋」となる消費者団体として、消費生活アドバイザー資格保有者等の専門家によって設立された、日本最大規模の消費者団体であり消費生活の専門家集団です。